

地質標本館の仕事 ②

体験学習（屋内体験型イベント）

地質標本館では、子どもから大人まで楽しみながら地球科学に触れることができるような体験型イベントを考案し実施しています。これらは担当する研究者の専門性から化石・地層に関するものと岩石・鉱物に関するものに分けられます。主なものは次の通りです。

化石・地層に関するもの 自分で作る!!化石レプリカ 化石クリーニング体験 鳴り砂体験 液状化実験	岩石・鉱物に関するもの 水晶ひろい 黄鉄鉱ひろい 鉱物に名前をつけよう 石を割ってみよう
--	--



“自分で作る!!化石レプリカ”の様子。化石レプリカの作製などの体験型イベントは来館者に好評で、多くのリピーターがいます。イベントでは、手順とともに標本に関わる情報やその意義を解説して学習の場として活用しています。

野外地質観察会（屋外体験型イベント）

自然科学である地球科学の楽しさを知ってもらうために、野外に出て実際に露頭を観察したり、自分の手で標本を採集して鑑定する屋外イベントを実施しています。こちらも化石・地層に関するものと岩石・鉱物に関するものに分けられます。最近のテーマは次の通りです。

化石・地層に関する観察会 霞ヶ浦周辺の地層と化石（2003年）
岩石・鉱物に関する観察会 笠間周辺の岩石と鉱物（2004年）



“霞ヶ浦周辺の地層と化石”の様子。野外地質観察会も人気のイベントです。露頭の観察に先立って観察のポイントを解説します（左）。標本の採集後、現場で研究者による鑑定の手ほどきもします（右）。

普及講演会

地質標本館にある映像室において1年に数回の普及講演会を実施しています。地質標本館あるいは地質調査総合センターの研究ユニットの研究者から直接、研究にまつわる生の話を聴ける機会を提供しています。また、夏季特別展の開催日にあわせて外部から講演者を招いて行う地質標本館特別講演会も開催しています。これとは別に、来館者の要望により、適時、ミニ普及講演会を実施しています（近隣の小学校に対して「地層の話」などの補助授業や、修学旅行の高校生などに対して地元の地質情報の提供など）。



定期的な地質標本館普及講演会（左）に加え、来館者の要望にあわせて普及講演会（右）も実施しています。

地質相談

地質標本館には地質相談所が併設され、常時、地球科学に関する相談に対応しています。この相談には地質調査総合センターの研究者全員が対応可能な体制をつくっています。また、夏休みの後半には、“地球何でも相談日”のイベントを実施して、旅行先などで採集した岩石・鉱物・化石などの標本を持ち寄ってもらい、鑑定などをして夏休みの自由研究をサポートするようにしています。



“移動地質標本館”（産総研九州センター）での“地球何でも相談”コーナー。つくばの地質標本館で相談に対応するほか、出張イベントとしても対応しています。

博物館実習指導

将来、博物館の学芸員をめざす大学生のため、地質標本館では博物館実習生を受け入れて、標本の取り扱い、展示技法、普及イベントの企画・運営などの博物館実務に関する実習指導を行っています。実習期間中、実習生の皆さんにはスタッフの一員として地質標本館のいろいろな仕事をサポートしていただいています。



博物館実習生による化石標本展示台の交換作業。将来の学芸員をめざして大学生の皆さんもがんばっています。

博物館に対する支援・国際活動

地質標本館は、国内で唯一の地球科学に関する総合博物館として、地方自治体が設置する博物館などに対して地質標本に関する学術的な助言や標本の貸し出しをしています。また、海外の博物館とも協力関係を結び、展示技術のサポートや人的交流などの国際活動も行っています。



国際活動の様子。ベトナムの地質調査所から研修生（写真中央）を受け入れ、地質標本館の成果普及活動について実務研修しているところです。